

令和5年度 秋田県農福連携研修会【事例報告】

令和6年2月20日(火)

農福連携で地域が元気になりました！



岩手県花巻市 高松第三行政区ふるさと地域協議会

事務局長 熊谷哲周

地区の概況

- 岩手県花巻市の東南部に位置する中山間地域
- 昭和40年代前半に山を開田、重粘土質の土壌で排水不良の水田が大半
- 高齢化率45%、一人暮らし高齢者・高齢者のみ世帯が40%を超えている
- 公共交通機関なし、一番近いお店まで4km
- 世帯数67世帯(移住者11世帯、Uターン2世帯、孫ターン2世帯)
- 今年になって花巻市内の福祉施設に勤務する若者(31才)が、「地域ぐるみの農福連携の取り組みに興味がある」と言って、家族4人で移住



「地域をなんとかしなければ」が始まり

- 平成20年(2008年)、集落の公民館での会話

「人が減ってきている(人口減少)」

「年寄りが増えた(高齢化)」

「このままでは限界集落になってしまうのではないか」

「中山間地域でもあり、農業・地域の危機ではないか」

- このままでは、じり貧・・・

「行動を起こそう！」と6人が発起人となり、協議会を設立へ

ところが・・・

農福連携を取り組むきっかけ

協議会を設立したのはいいが、所詮は素人

うまくいくわけでもなく、2年目で活動が行き詰ってしまった

そこで、アドバイザーの志村尚一氏（内閣府地域活性化伝道師）へ相談したところ、
3つのアドバイスをいただく

- ・「このままではいけない」という危機感の共有 ⇒ 「意識改革」
- ・「未来のありたい姿（ビジョン）」をつくる ⇒ 「住民の理解」
- ・「協働」の取り組みが必要 ⇒ 「まずはやってみる」

アドバイザーから紹介された、

岩手県立大学社会福祉学部の宮城教授の指導により

平成23年（2011年）に「農業」「福祉」「交流」を柱にしたビジョン策定

農福連携がスタート！

私たちが取り組む農福連携- 1

農 業

+

**高 齢 福 祉
障 がい 福 祉
児 童 福 祉**

=

地域の千カラ



農業・農村の間口の広さが、さまざまな可能性(地域の千カラ)につながった

私たちが取り組む農福連携-2

1 貸農園(10a)

平成21年(2009年)～ 高齢者中心



2 山の果実園(60a)ガマズミ、ナツハゼ

平成22年(2010年)～ 高齢者、障がい者、児童



3 サツマイモ(50a)

令和3年(2021年) 高齢者、障がい者

☆ポイント

- ・遊休農地、耕作放棄地の活用
- ・農業(地域)と福祉をつなぐコーディネーターの存在
- ・売上げを参加者の賃金へ



農福連携が地域住民主体の生活支援へ

1 配食サービス・見守り

平成26年(2014年)～



2 外出支援(自動車による移動支援)

平成28年(2016年)～



3 除雪支援(集落完結型)

令和3年(2021年)～



取り組み成果

山に自生しているだけだった、ガマズミやナツハゼといった地域資源が利益を生み、遊休農地が笑いあふれる場に生まれ変わった。

(2023年11月23日 読売新聞)



☆相乗効果

- ・地域内外との関係性ができ、交流人口が0→2,000人以上になった
- ・地域の悲願であったほ場整備事業(70ha)につながった

活用した事業

○農水省「農福連携支援事業」

○厚労省「高齢者生きがい活動促進事業」

○赤い羽根共同募金

